

# 強豪 綾羽に0-1で惜敗



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

5月26日に水口スポーツの森で春季総体サッカーの部が開催された。本校サッカー部はベスト4をかけた綾羽高校と対戦した。



前半にコーナーキックのチャンスをつかんだ



藤堂君が好セーブを魅せる

今回の試合は前半に綾羽に1点を取られたが、後半は両者無失点に終わり、0対1で惜しくも敗戦した。試合では本校のゴールキーパーの藤堂雄斗君(3 8)が好セーブを連発し、失点を1点に抑えた。攻撃陣もシュートがポストに当たり阻まれるなど、惜しい場面が何度もあった。



山田君が相手ゴールを襲つ

試合後、悔しがる部員達に取材を行うとキャプテンの下村健太郎君(3 2)は「相手は格上だったのでしっかりと準備して試合に臨んだ。一生懸命に頑張ったが、あと少し差が埋まらなかつた。しかし、大会を通してチーム全体でまとまって戦えた。これからもここで出会えた仲間を大事にしていきたい」と話した。磯崎俊希君(3 8)は「最後まで諦めずに戦えて、全員で皆を信じて動けて良かった」と話した。谷澤壮太君(3 3)は「守備は頑張ったが得点が入らず残念だ。最高のチームだから、ベスト8まで来ることができた」、試合で好セーブを連発した藤堂君は「前半に1点を取られてしまったが、後半は無失点で抑えられ、強豪綾羽を相手にしてはよくできたと思う」と語った。成田開君(3 3)は「相手が強いので、試合に臨む前から多

く練習してきた。試合には負けたけれど、自分たちのすることは全部した。このメンバーと一緒にできて良かった。これからも大切にしていきたい」と話した。池田誠君(3 1)は「相手が強いのは分かっていたが、1点が遠かった」と話した。山田幸平君(2 4)は「練習してきたことを出せた。負けはしたが、格上のチームと対等に戦えた。次の大会では3年生への恩返しとしてベスト8を目指したい」と語った。田井中辰郎君(2 4)は「自分自身これまでの3試合で点を取れていなかったのが結果を出したかったが、今回の試合でもアシストもできず、3年生の方に申し訳ない。皆フレンドリーで団結力はこのチームにも負けられないと思う」と話した。



相手ゴールを脅かす東高サッカー部